



ハッピーテラス通信

令和4年4月号（4月1日発行）

ハッピーテラスキッズ柏ルーム

04-7193-8205

kids-kashiwa@happy-terrace.com

新型コロナウイルスの感染が再度拡大しております。
ハッピーテラスでは、引き続き感染対策に十分に努めて参ります。



1 お知らせ

*新しい先生について

たちばな ひでき
橘 英樹

2月1日付で教室長に着任

うと かなこ
宇都 加奈子

4月1日付 児童指導員（非常勤）

詳しくは、教室内に掲示しておりますスタッフ紹介をご覧ください。

*緊急連絡票について

緊急時にハッピーテラスとご家庭を結ぶ複数の連絡手段を確保するため、

『緊急連絡票』のご記入をご協力いただいております。

ハッピーテラスでは新年度ごとに、更新のため再記入をお願いしております。

お手数ですが、何卒よろしく願いいたします。

*感染症対策について

ハッピーテラスキッズ柏ルームでは、以下の対応を継続して実施しております。

- | | |
|-----------------|---------------------------|
| ○スタッフの定期的な検査の実施 | ○定期的な換気と次亜塩素酸ナトリウムを使用した消毒 |
| ○非接触体温計での検温 | ○マスクの着用 |
| ○アルコールでの手指消毒 | ○児童、従業員の適切な距離の確保等 |

ご来所時、風邪症状の有無など健康チェックを目視で行います。下記のような症状がみられる場合には、ご利用をご遠慮いただくことがあります。

- のどの痛みがある ○ 咳が出る ○ 痰がでたり、からんだりする ○ 鼻水、鼻づまりがある
○ 頭が痛い ○ 体のだるさなどがある ○ 発熱の症状がある ○ 息苦しさがある ○ 味覚、嗅覚異常がある

職員からの推薦図書

題名 「いつつごうさぎのきっさてん」
著者名 まつお りかこ
参考価格 1,320円(Amazon)
推薦者 品田麻衣子（我孫子教室）



お料理好きのいつつごうさぎ。でもお料理の次に好きなものは5匹それぞれ。
5匹の洋服も、イチゴを使った料理のイラストもとても可愛く、幸せな気持ちになります。
お店屋さんごっこもできそうですね。巻末に可愛いレシピもついています！

3 おうちでキッズコーディネーション！

～こなみなみ～

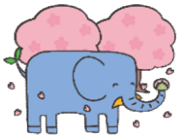
難易度★★★☆☆

- ねらい
- ・体をタイミングよくスムーズに動かす
 - ・すばやく正しく反応する
 - ・周りや人のものと、自分の位置の関係をつかむ

- 準備物
- ・新聞紙やチラシ、段ボールなどを丸めて筒状の棒（60～80cm位）を使います。

- 進め方
- ① 保護者は床に座り（正座がおすすめ）、子どもは立ったままで、正対します。
 - ② 保護者が握った棒を、子どもの足の片側にいったん置きます。合図と共に棒を左右に動かし、子どもは棒を踏まないようにその場でジャンプします。
 - ③ ジャンプする際、前後左右に子どもが移動してしまわないように、シールなどで床に目印を貼ると良いでしょう。

★ 幼児の場合は、連続で飛んでもらうのは難しいので、1回飛んでもらうごとに、振り返るまでタイミングをまって、わかりやすく棒を動かしてあげましょう。



動画のQRコードはこちら！

YouTubeに参考動画をあげています。ぜひご活用ください。

本トレーニング動画は、YouTubeにてハッピーテラスのご利用者様に対し、限定公開されたものです。ハッピーテラスのご利用者様以外の方にURLをお知らせされないようお願いいたします。



4 4月の追加ご利用可能日程

追加でご利用希望がございましたら、スタッフまでお問い合わせください

(記号：○・・・空きがございました △・・・若干名の空きがございました)

日付	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
曜日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
柏ルーム			/	△	△	△	△	△	△	/	○	○	○	○	○

日付	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
曜日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
柏ルーム	△	/	○	○	○	○	○	△	/	○	○	○	○	/	△

5 療育コラム 「お子様の視点から考えてみる声掛け」



子育てをしていると、早急且つ端的に「～しない!」「ダメでしょ!」と、お子様に声掛けをする機会が、少なからずある事と思われます（かく言う私自身も息子に言うことがあります）。

この場合、声掛けをしている側の視点では、短い声掛けの中に「（公共の場で、人の迷惑になるから大きな声を出したら）ダメでしょ!」などの意味を込めていることと思われます。

しかしながら、声掛けを受けたお子様側の視点で考えてみると…

先のような声掛けだと「何がダメだったの?」、「何か分からないけど怒られた…」というように、何故そのような声掛けを受けるに至ったのかの理由が理解できない可能性があります。

では、このように【よく分からないけれど、何だか怒られている】という気持ちが蓄積していくと、どんな事が起こってくるのでしょうか?

◆自己肯定感の低下

→繰り返し自分の行動を否定されると、当然ながら自己肯定感は、都度下がっていきます。

この、自己肯定感の低下は、他者に自身の意見を伝える機会の減少や、自己決定の範囲の縮小など、広く影響を及ぼす事が予想されます。

◆関係性の悪化

→人間は、自分にマイナスイメージを伝えてくる対象に対しては、良い印象を持ちにくい生き物です。他の機会に余程良い印象を与える何かが無い限り、声掛けをした対象との関係性は悪化し、信頼感や愛着の形成にも大きく影響を及ぼす事が予想されます。

それでは、こういった状況を避けるためには、どうすればよいのでしょうか。

基本的に、お子様に声掛けの裏にある意図を伝えて、何故その声掛けに繋がったのか、を理解してもらえると良いかと思われます。

それでも、すぐに行動の改善には繋がらないかもしれませんが、少なくとも、お子様や行動や取り巻く状況の何を見て、ダメ、と感じて、やらないでほしい、という結論に至ったのかを示す機会を持つことができます。こうして、繰り返し振り返りを積み重ねていく中で、お子様が意図を理解し、説明された声掛けの意図が、納得のいく内容であれば、行動にも変化が見られるかもしれません。

そして、もし、頭では分かっている、したくない、できない、という事であれば、その際は、お子様の想いを汲み取るチャンスと捉えて、アサーティブな関わりでお互いの想いを伝え合ってお互いの納得できる結論を一緒に導き出していけると、ともすれば信頼感が低下してしまいかねない場面も、信頼感を向上する場面に好転できるように思います。

このように、大人の感覚では、当たり前前に汲み取れるもの、と考えてしまいがちな内容であっても、お子様の側からすると、意図が上手く伝わっていない、というケースは多くあります。

保護者様のお声掛けは、お子様への深い愛情を含んでいるものです。

そのため、保護者様一人一人の意図が適切に伝わる事で、お子様のより良い成長や良好な関係性作りに繋がっていく事を心よりお祈り申し上げます。